



小学生夏休みワークショップ  
「1000年後のプラスチック動物あらわる！」開催  
～未来動物出現～

広島アートプロジェクトは、平成19年より毎年、吉島地区にて展覧会を開催して参りました。過去2回の展覧会では、児童館に通う小学生と作家が協同作業を通して作品制作を行なってきましたが、今回は吉島にある2つの小学校（吉島小学校、吉島東小学校）にて小学生自身のワークショップ形式の作品制作を開催出来る運びとなりました。ファシリテーターは、広島市立大学芸術学部在籍のアートディレクターを目指す学生となります。つきましては、本ワークショップの取り組みを広くお知らせいただきたく、また当日の取材につきましてもご検討いただけますようお願いいたします。



## 1.開催概要

本ワークショップでは、小学生が日常から出たプラスチックゴミを即興的に組み合わせて、プラスチック動物をつくります。命を吹き込まれたその生物は、吉島地区で開催される展覧会「いざ、船内探険！吉宝丸」展（9/5～23）にて、各小学校付近の木陰や、木の幹などの野外空間に棲息させる予定です。また会期中、プラスチック動物を探しにいくアートイベントを開催予定です。

### ◆吉島東小学校

日時：2009年7月29日(水) 9時～12時  
会場：吉島東小学校 図工室  
対象：小学生

### ◆吉島小学校

日時：2009年8月5日(水) 9時～12時  
会場：吉島小学校  
対象：小学生

## 2.ワークショップの目的

21世紀を生きるわたしたちにとってのプラスチックは、家電製品、食品のパッケージの包装材料など、ありふれた日用品であり、その多くは日常のサイクルの中で価値が失われゴミとなっていきます。そして、環境問題が見直される現代、成分を分解するのに1000年以上もかかり廃棄後の処理が行いにくいプラスチックは、環境破壊を引き起こす原因の一つとも考えられています。

今回のワークショップでは、価値を失いゴミとなったプラスチックの迷惑な1000年の寿命を、動物の命に見立てます。まっさらな視点を持つ子どもたちと、新しい感性を模索する芸術学部の学生が、お互いに影響を受け合いながら行う共同制作です。1000年生きる未来の動物たちから垣間見ることのできる1000年後の未来。私たちは、21世紀の環境問題を見据えた、新たな文化の創造者の育成を目指します。

主催：広島アートプロジェクト実行委員会 共催：広島市立大学、財団法人広島市ひと・まちネットワーク、広島市吉島公民館  
助成：平成21年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業、財団法人文化・芸術による福武地域振興財団、財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人朝日新聞文化財団 特別協賛：広島バス株式会社、株式会社フレスタ 協力：アサヒビール株式会社、エプソン販売株式会社、広島市中区社会福祉協議会、広島市中区吉島学区社会福祉協議会、広島市中区吉島東学区社会福祉協議会、広島市吉島福祉センター、広島ポートパーク株式会社、広島市立吉島小学校、広島市立吉島東小学校、有限会社土岸新聞舗、株式会社中国新聞販売センター 後援：広島市中区光南4・5丁目町内会

お問い合わせ・ご取材の申込先

Tel：090-2008-7547, 082-830-1635 Fax：082-830-1635 E-mail：HiroshimaArtProject@gmail.com (担当：斎藤)